



子どもの貧困を考える ネットワークニュース

2018年2月号

隔月発行

発行:子どもの貧困問題

大阪ネットワーク理事会

今年一年もご協力をお願いします 大阪の子どもの貧困問題を解決するために



大阪地方自治研究集会(17.7.9)で
活動を報告する中田理事長

2018年の年頭所感

ネットワークを立ち上げ、二年目を迎えました。みなさんに支えられ取り組みをほぼ成功できたことを感謝しています。月に一度、三役会議と理事会を開き、理事会では三役・理事が講師になり学習を深めてきました。

さて、いま厚労省調査によると子どもの貧困率(2015年)は13.9%で、OECDの平均13.2%を上回り、デンマークの2.7%やお隣の韓国7.1%にはるかに及びません。主要36カ国中24位です。一人親世帯の貧困率は過半数で深刻です。母子世帯は、2016年11月の調査によると123.2万世帯(2017年12月発表)で、その半数60数万の世帯の子どもたちが貧困状態にあるということです。

この一年、子ども食堂と学習支援のワーキング・グループが積極的に活動し、明石市の先進的な取り組みを取材、また学習支援の法人や団体とつながりを深めることができました。「学習支援事業実践者交流会」で四つの実践が具体的に報告され子どもの居場所づくりとしても貴重な役割を果たしていることが相互に確認できました。総会のあとのシンポジウムでは、記念講演 藤井伸生さん(京都華頂大教授)と明石市の子育て支援施策 伊藤丈泰さん(明石市児童総合支援担当次長)、府内の活動紹介 浦上 弘明さん(元八尾市教育長・夢うららほっとステーション会長)と石野 公平さん(ちゃおちゃお)の特別報告が、それぞれ充実した内容で好評でした。直接大阪府の担当の課を訪問し、調査結果にもとづく子どもへの支援の進捗状況や今後の対策などをうかがい、報告を受ける集いを企画したいのでその節は講師を派遣していただきたいという趣旨の要請もしてきました。今年一年さらなる会員・団体の拡大と方針実践に努力したいと思っています。また事務局を担う方を補充したく、会員・団体をはじめ関係者のみなさんのなかでご協力いただける方があれば・・・と願っています。

子どもの貧困問題大阪ネットワーク理事長 中田進

～大阪の子どもの貧困の実情（パルコープ学習会より）～

私が「子どもの貧困問題」に関わるきっかけになった1枚のグラフ。全国2位の子どもの貧困率と若者の非正規率には、明確な相関関係がありました。「大阪の子どもの貧困は大阪の大人の貧困だ…」と。

90年代以降、非正規率が年々増えています。今では、非正規雇用が4割を超えました。賃金で

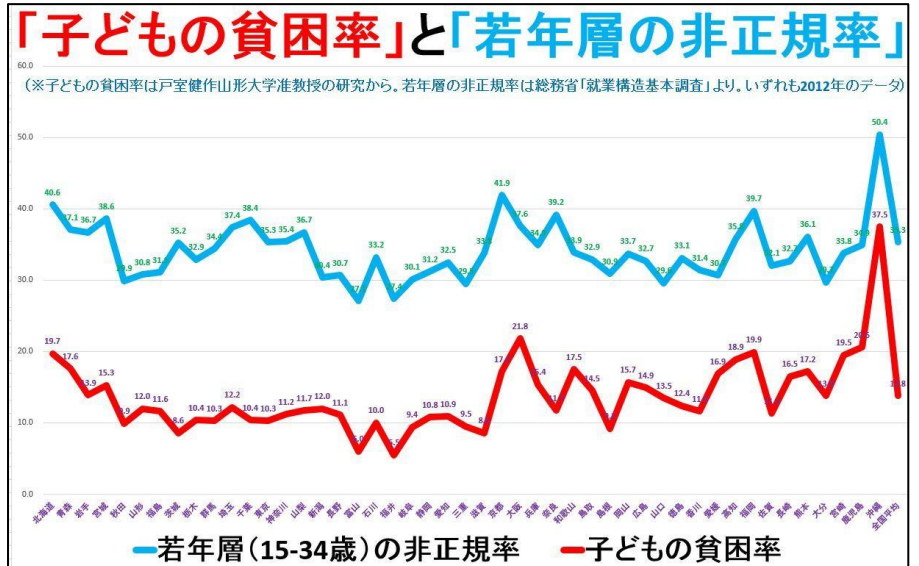
比べると、正規職員の平均賃金が年間477万円に比べ、非正規労働者の平均賃金は187万円・約4割で大変な格差です。OECDは、格差が経済成長を損なう、と加盟国の格差指標を公表し、是正を呼びかけています。2014年のOECD[ひとり親家庭の貧困率指標]で、日本がワーストワンになりました。特に、母子世帯の貧困率が高く、男女の賃金格差がもたらす影響でしょう。

子どもたちの切ない実態を示すのは、大阪府が行った子どもの生活実態調査です。大阪市内の小学校5年生と中学2年生の調査結果を、大阪社保協が分析されています。それによると、朝ごはんを毎日食べられない子が大阪市内で2万2千人、学校のない日に昼ご飯を食べられない子がなんと3万3千人です。大阪市内の全小学生・中学生数16万6千人の20%です。夏休み後の身体検査で体重の減っている子が多い、という養護教員の話と符合しますね。そのほか、「自分のことを大事に思ってくれる人はいない。」「頑張った時に褒めてくれる人はいない。」「大人を信用できない」と言う子も約26%います。

そんな中、ほっておかれへん！と立ち上がったおっちゃん・おばちゃんの「子ども食堂」と生協の食材提供が、大阪府下で約350か所にのぼっています。労働法制度の改正で、ますます広がる格差と貧困。西成区では、失業・離婚・虐待・障害・無国籍などなど、追いつかないほどの社会問題の中で、子どもたちは育っています。子ども食堂は、食事が準備されているだけではなく、子どもたちがホットする居場所です。

子どもの貧困問題の解決には、国や地方自治体の制度・政策が重要です。「やろうと思えばできる」、それを教えているのが、兵庫県「明石市」です。子どもを中心とした街づくりの成果でしょうか、若い世帯の流入がすすみ遂には中核市に格上げされ、さらに独自制度の実行が可能になっています。子どもの貧困と言っても、背景には多様な要因が絡んでいます。でも、色々ある課題の中の一つとして捉えるのではなく、「子ども」に焦点を当て、一つ一つほぐしていく努力が必要ではないでしょうか。

(レポート：副理事長 藤永のぶよ)



子ども貧困ネット活動紹介

子ども貧困ネットでは、①調査活動 ②子ども食堂③学習支援活動ーの3つのワーキンググループを軸に子どもの貧困の実態を掴み、発信し、自治体との交渉、政策提言を行っていきます。

現在、府下で活動する諸団体への訪問を実施しています。活動状況や制度的な問題点について情報収集し、大阪府と面談を行う予定です。

【3月度会議及び今後の日程】

03/13 三役会議
 03/23 理事会